

2015～2016年度

Weekly Report



【市貝町】芝桜公園

2016. 3. 10 NO. 2789

国際ロータリークラブ会長テーマ 「世界へのプレゼントになろう」

国際ロータリー第2550地区

真岡ロータリークラブ会長テーマ 「入りて学び 出でて奉仕せよ」

真岡ロータリークラブ 会長 田村 浩次

- 司会 S A A 中川 宏行君
- 点鐘 会長 田村 浩次君
- ロータリーソング 我らの生業

■会長挨拶 会長 田村 浩次君

■幹事報告 幹事 久保 康夫君

6日日曜日の真岡RC杯小学生交流バレーボール大会は大越青少年奉仕委員長はじめ担当委員、会員の皆様のご協力をいただき、無事に終了することができました。本当にありがとうございます。

本日の例会では炉辺会合の発表を5名の座長にお願いしております。座長のお話をうかがい、今後のRC活動に結びつけていきたいと思っております。どうぞよろしく願いいたします。



先週の理事会において、台湾の震災に対して30万円の義援金を送ることが決定しておりましたが、斗六RCより台南市が義援金の受付を終了したという報告がありました。ビルの倒壊が一棟であったことなどがその理由だと思われます。

義援金をお届けすることで逆に斗六RCに迷惑がかかるといけませんので、義援金の持参を中止することにいたしました。



月曜日

宇都宮90⇒東武ホテルグランデ
小山中央⇒思 水 荘

火曜日

真岡西⇒フォーシーズン静風
宇都宮⇒東武ホテルグランデ
宇都宮東⇒ホテルニューイタヤ

水曜日

益子⇒益子カントリー
しもつけ⇒石橋商工会館

木曜日

宇都宮西⇒東武ホテルグランデ
宇都宮北⇒宇都宮グランドホテル

金曜日

小山東⇒ウイテ・マリアージュ

会長 田村浩次 幹事 久保康夫 会報委員(市村忠男・柳田尚宏・坂本光・太田浩彰・渡邊佳真)

事務局

〒321-4305 栃木県真岡市荒町1203(商工会館内)

TEL 0285-84-2511 FAX 0285-84-2510

e-mail:rc-moka@sweet.ocn.ne.jp

■委員会報告

会報委員会 市村 忠男 君

会報の訂正をお願いいたします。3月3日号(No.2788)の出席報告の中で、補正後2月18日の事後MUを8名に、欠席を1名に訂正いたします。出席率は97.87%になります。

**■委員会報告**

青少年奉仕委員会 大越 正和 君

3月6日のバレーボール大会におきましては大勢のご参加をいただきまして、誠にありがとうございました。今月の26日(土)に午後7時より「けやき」にて反省会があります。可能な方はご参加下さい。

**■委員会報告**

親睦委員会 岡本 佳男 君

花見例会が4月5日(火)午後6:30から、真岡観光リステル村にて行われます。4月1日(金)までに欠席の御連絡をお願いします。

親睦家族旅行が4月23日(土)・24日(日)にあります。商工会議所に午前6:30集合です。静岡県焼津黒潮温泉方面に向かいます。4月8日(金)までに欠席をご連絡下さい。

**■本日のスマイルボックス**

柳澤 正弘 君

●田村浩次 会長

日曜のバレーボール大会に当たり、会員の皆様のご協力ありがとうございます。又、今日の炉辺会合発表をする座長の皆様よろしくお祈りいたします。

●久保康夫 幹事

炉辺会合お疲れ様でした。高出席率に感謝致します。座長様におかれましては、本日の発表も含め大変お世話になりました。

●篠原 泉 会員

2月18日の祝賀会においてクラブから身に余る御配慮を戴きましてありがとうございました。又、多くの皆様に大変ご多用な中ご臨席を賜り、感謝致します。厚く御礼申し上げます。

過日の炉辺会合では座長の柳澤会員はじめ皆様に大変お世話になりました。

●岡本俊夫 会員

大越委員長、バレーボール大会の運営御苦勞様でした。

柳澤座長、炉辺発表御苦勞様です。

真岡市民号に三澤君と参加して参ります。

●福原一郎 会員

先日のバレーボール大会の開会式には出席できず申し訳ありませんでした。大越委員長、お疲れ様でした。

柳澤さん、炉辺会合の座長のお務めご苦勞様でした。

●辻 達男 会員

各座長さん発表ご苦勞様です。

昨晩は落の臺の天ぷらで一献やりました。春の気配を感じる至福の一時でした。

●大越正和 会員

青木さん、座長お疲れ様でした。発表宜しくお祈りします。

また、3月6日のバレーボール大会では会長幹事はじめメンバーの皆様にはお世話になりました。

●久保賢司 会員

昨日、栃木県サッカー協会の石崎会長の御自宅へ水道の修理に行ってきました。真岡ロータリーの皆様に宜しくとの事でした。特に久保康夫さんには栃木SCをくれぐれも宜しくとの事でした。

●石井 誠 会員

3月4日に開催されました炉辺会合の第4班の皆様ならびに久保幹事、お忙しいところお集まり頂きありがとうございました。

●宗像 拓 会員

先日は結婚記念日のお祝いをいただきありがとうございました。先週はインフルエンザで例会も仕事も休んでしまい大変ご迷惑をおかけしました。おかげさまで元気になりました。

●柳澤正弘 会員

3月3日行われた第3回炉辺会合に参加頂いた第1班の会員の皆様、大変お世話になりました。今後ともご指導よろしくお願い致します。



1. 今年度前半の反省点と後半に望むこと

会員の増強策について議論が盛り上がった。
 ・52名の会員でスタートした今年度も現在の会員数は51名という状況であり、毎年会員の拡大を目標として掲げてはいるものの結果が出ていない状況である。もう一度当クラブとして、また2550地区としての会員増強の方針や方策を見直すべきではないか。
 ・今後のRCの存続とクラブの活性化を目指すに当たり、会員の拡充は不可欠である。特にこの地域において広い意味で活躍できる若い人材の発掘はRCの使命とも言える。

そこで、「クラブ60周年を会員60名で迎えよう！」をスローガンに会員一丸となり会員増強活動に取り組もうという気運が高まった。具体的な施策としては、

- (1) 退会した会員への働きかけ。(以前在籍した会員に対して退会理由を検証の上再入会を促す)
- (2) 芳賀地区や二宮地区など現在の会員数が少ない地区の増強を図る。
- (3) 現JC会員へのRC加入促進。

また、現在の会員増強活動は先輩ロータリアンの皆様の圧力によるところが大きいと思われるが、今後のRCの発展を考えれば、若年会員がもっとRC活動の社会的意義や魅力を十分にPRする必要がある。

2. 区域限界内における真岡RC独自の社会奉仕活動計画検討委員会の設置について

・委員会の設置については既に理事会の承認を得ている。真岡RC独自の社会奉仕活動により地域貢献を果たそう、奨学金制度を海外ではなく地元のために役立てられないか、などの総論については全員異議は無い。しかしながら、同時に問題点も浮き上がった。

- (1) 米山財団との区別。
- (2) クラブや会員の経済的負担を考慮する必要性。
- (3) 現在の継続事業の見直し。

・その他、資金的な援助だけでなく労力や時間、また機会創出等、別の形で貢献できないかという意見も上がった。

・新たな継続事業の立ち上げは当クラブのメイン事業の一つとしてしっかりと組み立て、事業を発展させていく必要がある。この度検討委員会の発足が決定し、あくまでもそのスタート位置に着いたところなので、今後委員会メンバーの選任や計画骨子の策定等、一步一步慎重に議論していきたい。



1. 今年度前半の反省点と後半に望むこと

・なかなか例会に出席できず懸命にメイクでまかっているが、また100%を狙うつもりである。
 ・今までの出席率が良いのは評価できる。個人的にはまだRCについてわからないことがあるので、これからも勉強していきたい。
 ・青少年奉仕委員会の仕事が大変なので、若い会員が多い方が良いのではないかと。
 ・会場である商工会議所がバリアフリーになっていないので、対応が望まれる。
 ・月初会のコーヒープレークの時間はもう少し長い方がいいのではないかと。例会の雰囲気はやや堅いように思われるので、もう少し和やかさがあってもいい。あまり内容を詰め込まず、フリータイムを増やしたらどうか。例会場とコーヒータブルが別の場所にあるのが望ましい。玄関から入ったところのロビーにRCでコーヒーなどを置いておくのはどうか。

2. 区域限界内における真岡RC独自の社会奉仕活動計画検討委員会の設置について

・ロータリーの悪い癖は「他の団体に乗っかってやる」ことが多い点である。真岡RC独自の行動ができないかを考えたい。経済的に苦しいひとり親世帯、生活保護世帯に対する奨学金制度、あるいは学習支援制度が候補として挙げられるが、その他にもできることをみんなで考え合う。
 ・準備委員会よりも、まず全会員に理事会の考えをしっかりと伝えるべきである。その上で、文書による回答など、全会員が意見を出せる仕組みをつくれれば良い。
 ・世界の文化と日本文化の違いを考え、国際ロータリーとは離れた独自の活動を生み出すことを目指したい。ただし、長期的に継続する事業を立ち上げるためには、無理なく続けられる仕組みとなるよう慎重に考えなければならない。
 ・「四つのテスト」の精神に添う事業を立ち上げたい。
 ・お金を出すだけではなく、行動で示すような活動をしたい。また、そういう活動ができれば、それをある程度は宣伝したほうがいいのではないかと。

3. その他

宇南山PPが紹介した「貧困の中の子ども」には栃木県内で貧困に苦しむ様々な子供たちの姿が描かれている。2550地区RCのバイブルにもなりうる本なので、会員諸氏には一読願いたい。



■炉辺会合報告 第3班座長 平石 典嗣 君

1. 今年度前半の反省点と後半に望むこと
 - ・会長挨拶が長く、幹事の例会での報告が判りにくい点がある。
 - ・出席報告の際個人名を出すのはいかがなものか。
 - ・会社の従業員でも会社を休むときは会社に連絡を入れるので、RCの会員たるものが無断欠席はよくない。
 - ・〇〇代行という役職はないので、委員長代行という自己紹介はよくないのでないか。
 - ・横断幕を見ればわかるので開会のとき第〇〇回例会という必要はないのではないか。

2. 区域限界内における真岡RC独自の社会奉仕活動計画検討委員会の設置について

- ・若い人が入って来ている中で5年後10年後の魅力ある事業を作らないと若い人たちが辞めてしまう。
 - ・独自の社会奉仕活動を始めるにあたって現在の継続事業を辞めてよいのか？
 - ・中長期ビジョンは一貫性のあるものでないといけな。
 - ・「奨励金」としてお金を出す場合と「奨学金」としてお金出す場合の2つのパターンについて話があった。
- (1) 奨励金…スポーツで全国大会3位以内や、県大会優勝など優秀な成績を納めた区域内の学校に与える。
 - (2) 奨学金…区域内の経済的に厳しい学生に与える。

3. その他(会員増強と委員長という役職について)

- ・会員増強は、知り合いのつながりで入ってくるのではなく、自ら希望して入ってくるようでないといけな。
- ・子クラブの方が会員増強に関してのPRは上手い。もっとうまくメディアを利用したらどうか。
- ・委員長という役職については、裁量権が少ない。外部からの情報が入ってこないことがあるので委員長に情報が流れる仕組みがきちんと出来ていないのではないか。事務局は幹事の事務局なのであって、何でも事務局に頼むのはよくない。委員長を依頼するときに「何もなくてよいのだよ」と言って依頼するのはおかしい。



- ・会場を臨機応変にして、行きやすい雰囲気を。
- ・一生懸命出席率向上に取り組む事は良いが、熱心すぎるとどうか。特に第一線の若手の出席は難しい。
- ・例会出席は大人の世界。強制する必要無し。
- ・欠席を繰り返すと出席しづらくなる。低出席率者のフォローが大切。
- ・錯誤による欠席を防ぐ努力をするべき。

- (2) 会員の増強

- ・出席率向上への努力が低出席率者の退会に結びつく。
- ・各会員が増強に努力しているが、若手が入会しやすい雰囲気を作ることが大切である。

- (3) 一般会計と特別会計

- ・スマイルボックスを一般会計に組み入れる事については、会計の明細をはっきりとさせる。
- ・奉仕委員会の予算の中の支出と明記すべき。
- ・会費の値上げなども検討する必要性あり。
- ・スマイルボックスはあくまでも特別会計で。
- ・平均4万2千円には個人差があり、必ずしも公正とは言えない。
- ・義損金の支出なども含めて会員に納得性のある報告をお願いしたい。資金用途について理事会の承認後例会で報告願いたい。

2. 区域限界内における真岡RC独自の社会奉仕活動計画検討委員会の設置について

- ・地区に貢献できる事業が良い。
- ・軍資金のあるクラブと無いクラブでは実施できる内容が異なる。
- ・会員のRC事業への負担金額についても様々である。
- ・継続事業設置委員会で継続性のある事業を検討してもらいたい。



■炉辺会合報告 第5班座長 青木 圭太 君

1. 今年度前半の反省点と後半に望むこと

- ・出席率が良く、人が多いので楽しい。
- ・他のイベントの出席率も上げられるとなお良い。
- ・RCの深い話を会長挨拶に盛り込んでほしい。
- ・スマイルの使い途の再検討
- ・懇親会の都度集金すべきではないか。
- ・古き良き過去を継承しつつ新しいシステムを採り入れ、役員や新人の教育をルール化してほしい。

2. 区域限界内における真岡RC独自の社会奉仕活動計画検討委員会の設置について

- ・委員会の設置に関しては全員賛成で、期待している。

次頁へ続く

■炉辺会合報告 第4班座長 石井 誠 君

1. 今年度前半の反省点と後半に望むこと

- (1) 例会の充実

- ・企画が練られており、マンネリ感はない。
- ・外部卓話を地域密着型とし、ロータリー関係者ではない郷土史研究者、趣味に長けた方を呼ぶのはどうか。

3. その他

<会員拡大・増強について>

- ・RCは良いことをやっているのだからもっと宣伝すべきではないか。
- ・生きた金が流れていることを見えるようにしてほしい。
- ・圧力をかけたり騙したりして入会させるのはいけない。
- ・人が少なくなったら合併もやむを得ない。



■ 3月10日までのスマイルボックス

前回までのスマイル繰越金	1,845,300
会員	35,000
ビジター	0
合計	35,000
累計	1,880,300
前回までの米山繰越金	40,149
米 山	0
累計	40,149
前回までのその他繰越金	4,000
その他	10,000
累計	14,000
合計金額	1,934,449

■ 3月10日のお食事



■ 本日のプログラム

3月17日(木)
<通常例会>
[外部卓話]

真岡青年会議所理事長
伊澤 学 様

■ 次回のプログラム

3月24日(木)
<通常例会>
[外部卓話]

日本飛行連盟理事長
中澤 愛一郎 様

■ 月間予定

3月												4月																											
15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	
火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	
		例会 (真岡JC 理事長卓話)							例会 (外部卓話)							例会 (内部卓話)					花見例会 (夜間)	振替休会						月初例会											例会

■ 出席報告

在籍51名	出席免除5名(有資格者2名 + 有理由者3名)										
例会日	出席義務	事前MU	事後MU	出席	欠席	出席率	本年度累計出席率				
補正後2月21日	46	6	3	34(1)	4	91.49%					
3月10日	46	8	—	37(1)	2	95.74%					
6月出席率	7月出席率	8月出席率	9月出席率	10月出席率	11月出席率	12月出席率	1月出席率	2月出席率	3月出席率	4月出席率	5月出席率
84.74%	97.52%	96.73%	92.00%	96.45%	92.05%	91.99%	93.79%	93.62%			

※出席数の()は出席免除者の出席を表す